

令和6年度
治験・倫理審査委員会委員研修
「委員養成研修」

グループワーク

グループワークでのお願い

- 事例のお話をする場合には、どうしても具体的な内容を含む場合がありますが、あくまでもこの場限りという取り扱いでお願いいたします。
*本パートは録画等も行いません
- 出来る限り、自身の経験に即した話をお願いいたします。
- 参加者の皆さんがそれぞれお話いただくことが学びにつながりますので、自分の話をする時間を人数で割って考えてください。
- 他の人がお話をされているときは、傾聴をしていただけると進行が進みやすいので、ご協力をお願いいたします。

【グループワーク課題 1】
患者・市民の研究参画について

患者・市民の研究参画とその課題について 事前アンケートで回答いただいたポイント

- 患者にとって治験・臨床研究のリスクや対応策が明確であるか。
- 専門用語を避けた分かりやすい説明文書であるか。
- 患者が「治療」と「研究」の違いを正しく理解できるようにする必要がある。
- 研究への期待と現実のギャップによる落胆を防ぐ工夫が必要。

グループワークでお話しいただきたい問い (これ以外でもかまいません)

- ① 自分が治験・臨床研究に参加する場合、何を判断基準としますか？
どのようなことを重要視しますか？
- ② 家族が治験・臨床研究に参加する場合、何を判断基準としますか？
どのようなことを重要視しますか？

メモ

【グループワーク課題2】
規制当局と研究の関わりについて

規制当局と研究の関わりについて 事前アンケートで回答いただいたポイント

- PPIの意義やメリット・デメリットを広く周知する必要がある。
- 患者数の少ない希少・難治性疾患にも研究機会を確保すべき。
- 遺伝子検査・再生医療など、新しい医療技術に関する正しい知識の普及が重要。
- 患者・市民と研究者が円滑に議論できる環境が必要。
- 新規治療の可能性と限界を、研究者・患者・市民で共通認識を持つべきであり、そのような場を提供すること。

グループワークでお話しいただきたい問い (これ以外でもかまいません)

- ① 規制当局と研究の関わりについて、どのようなことが必要だと思えますか？
- ② 今後、医療はさらに高度化していくと考えられます。規制当局には何を期待しますか？

メモ